

第2回 千歳川流域水害対策協議会 議事概要

日 時：令和6年6月26日 10:30～11:10

場 所：恵庭市民会館（WEB会議併用）

出席者：柿崎 恒美（北海道開発局 局長）

小林 幹男（北海道開発局 札幌開発建設部 部長）

伊藤 拓郎（代理）（北海道 建設部土木局河川砂防課長）Web参加

高橋 浩揮（北海道 空知総合振興局 副局長（建設管理部担当））

後藤 好人（江別市 市長）

品田 雅俊（代理）（千歳市 副市長）

原田 裕（恵庭市 市長）

上野 正三（北広島市 市長）

小林 史典（代理）（南幌町 副町長）

齋藤 良彦（長沼町 町長）

佐藤 肇（林野庁 北海道森林管理局 石狩森林管理署長）

鶴谷 昌志（代理）（林野庁 北海道森林管理局 空知森林管理署 総括治山技術官）

Web参加

高倉 正純（代理）（財務省 北海道財務局 管財部 第2統括国有財産管理官）

Web参加

福井 智之（環境省 北海道地方環境事務所 次長）Web参加

竹田 康生（代理）（気象庁 札幌管区气象台 気象防災部長）

宮田 寛（千歳川治水対策促進連合期成会 会長）

<議事>

○千歳川流域水害対策協議会の規約変更について

- ・千歳川流域水害対策協議会の規約の変更について承認された。

○千歳川流域水害対策計画（案）について

- ・事務局より千歳川流域水害対策計画（案）の概要について説明。
- ・事務局が提示した千歳川流域水害対策計画（案）について、承認された。

○全体を通して

- ・恵庭市長：

計画の内容については総合的な水害対策ということで、多岐にわたる分野について網羅していると考えている。策定の手続きも、住民への説明会や有識者からの意見も伺う

といった、慎重な手続きを取っていただいた計画となったことに、全面的に賛同したいと思っている。河川整備の加速化についても、実行していただいております、計画にも明記していることを、高く評価したい。今後、計画の策定に向けて手続きを進めていただきたい。

・北広島市長：

北広島市は開村以来、水害との戦いが続いており、昭和 56 年の水害までは毎年のように低地帯が水に浸かっていた。また住宅街を流れる輪厚川は雨が降ると水位の上昇が速い特徴があり、地域の皆さんも大変心配をしている。そういう中で、千歳川の河道掘削等により、水位の低下も速くなっており、昨年からは輪厚川の改修が始まったことから、流域の市民の皆さんも大変喜んでいて。今年度から予算も別枠になるということであり、輪厚川の改修ができるだけ早く終わることを期待している。

・石狩森林管理署長：

千歳川上流域の国有林のほとんどが水源かん養保安林に指定されており、厳しい伐採制限があり、育成途上の人工林については間伐や小面積の伐採をしながら、次代の木を育てていく複層林施業を実施している。かつてのような大面積の皆伐は現在では行っておらず、間伐又は育成複層林に誘導するための施業を実施している。今後も、下流域に水害ということで影響が及ばないように、気を引き締めて引き続き事業を実施していく。

・札幌管区気象台 気象防災部長：

計画に気象防災ワークショップと気象庁ワークショップを記載している。気象防災ワークショップは主に防災機関向け、気象庁ワークショップは住民向けで、注意報・警報、指定河川洪水予報のような情報を出した時に、防災機関がどういう対応をするか、住民の皆さんにどういう行動をしてもらうかを、グループワークで実施する。流域の皆さんの防災力の向上に資するように、住民や企業等が自らの水害リスクを認識して、自分事化として捉え、自らの行動を深化させていくことを、我々も皆さんと一緒にこれからも取り組んでいきたい。

・千歳川治水対策促進連合期成会長：

千歳川流域は広大な低平地が広がり、石狩川の高い水位の影響を受け、これまで幾度も大きな洪水被害を受け続けている。一方で、整備事業の一本の柱にありました遊水地群が完成し、高収益作物の栽培が可能となるなど、農業の生産基盤が強化され、治水対策の進展による効果が表れているが、堤防整備が途中段階であり、完成まではまだまだ時間がかかる状況となっている。このような中、千歳川流域水害計画（案）が本日、示

され、河川整備が加速化されることにより、千歳川河川整備事業が一日も早く完成されますことを期待している。水害のない安心して安全な地域づくりになるようお願いしている。

以上